

株式会社パン・パシフィック・インターナショナルホールディングス  
2022年6月30日

## FTSE Russell の ESG レーティング向上及び 「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」構成銘柄への選定

株式会社パン・パシフィック・インターナショナルホールディングス(本社:東京都目黒区、代表取締役社長 CEO:吉田直樹、以下 PPIH)は、グローバルインデックスプロバイダーである FTSE Russell が算出する ESG レーティングが「2.7」へと向上し、「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」の構成銘柄に選定されました。

ESG レーティングは、本年度から立ち上げたサステナビリティ委員会の活動などにより、環境及び社会的サプライチェーンや人権とコミュニティなどの評価が高まったことにより向上することとなりました。

また「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」は、各セクターにおいて相対的に ESG 対応に優れた企業のパフォーマンスを反映するインデックスで、ESG レーティング「2.0」以上の企業が選定対象となります。低炭素経済への移行を促進するため、特に温室効果ガス排出量の多い企業については、TPI 経営品質スコア(※)により、改善の取り組みが評価される企業のみが組み入れられます。なお本インデックスは世界最大の年金基金である年金積立金管理運用独立行政法人(GPIF)の ESG パッシブ運用の指数としても採用されています。

当社グループは、企業原理「顧客最優先主義」のもと、いついかなる時も、お客さまの暮らしを支え、お買い物の楽しみを提供することを第一に、本業である総合小売業の事業活動を通じて環境・社会の課題解決に取り組み、持続可能な社会の実現を目指しています。ESG については、特定した各マテリアリティに対応した委員会を設置し、取締役兼執行役員 CFO の管掌のもと、検証改善を行いながら取り組みを強化してきました。また、マテリアリティの一つである「気候変動への対応・脱炭素社会の実現」においては、PPIH グループ脱炭素目標の達成に向けてグループ一丸となり CO<sub>2</sub>排出量の削減に取り組んでいます。

今後もステークホルダーと連携しながらサステナブル経営をいっそう推進し、小売業としての社会的責任を果たしながら、中長期的な企業価値の向上に取り組んでまいります。

※TPI 経営品質スコア: 企業の温室効果ガス排出量および低炭素への移行に関連するリスクと機会の管理の質を評価するもの。

FTSE Blossom Japan Sector Relative Index について

<https://www.ftserussell.com/ja/products/indices/blossom-japan>

<参考>

PPIH グループのサステナビリティ <https://ppih.co.jp/csr/>

PPIH グループ重要課題(マテリアリティ) <https://ppih.co.jp/csr/policy/>

PPIH グループ脱炭素目標 <https://ppih.co.jp/csr/materiality1/co2/>